委託先名：

■評価基準

委託先選定基準は以下のように評価を行う。

（１）委託業者内容からチェックすべき項目が必須であるか判断し、項目の必須欄に〇印を付ける。

（２）「委託先選定チェックリスト」の各必須項目についてＡ（満足）・Ｂ（改善が必要）・C（問題あり）の３段階で評価する。１項目につきすべて該当する場合はＡ、１つ以上該当する場合はＢ、全て該当しない場合はＣとする。

（３）「委託先選定チェックリスト」は、委託先業者により業務内容が異なることから、全ての項目について要求するものではない。委託先の業務内容を考慮し、業務内容から必要とされる項目のみ評価する。必須項目は、A または B を要する。他にＣが１項目でもあれば、原則選定対象から外す。

委託先選定チェックリスト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価する内容 | 必須 | 評価 |
| （１）委託する業務に関する実績、能力。 | □委託する業務に必要な国家資格は有しているか。□業界で悪い噂は流れていないか。□業務実績は豊富にあるか。□業務処理能力は高いか。 |  |  |
| （２）企業としての安定性、組織体制。 | □創業 5 年以上経過しているか。□従業員数は 5 名以上いるか。□資本金は 1,000 万円以上あるか。□帝国データバンクで悪い評定がなされていないか。 |  |  |
| （３）当社との取引実績。 | □以前、当社と取引実績はあるか。□以前、当社と取引実績があった場合、良い評価であったか。□以前の取引は、1 年以上続いたか。 |  |  |
| （４）委託にかかる費用が他社と比べて安いか。 | □委託費用は、他社と比べて安いか。□他社と比較して、付加価値の高い業務をしてもらえるか。 |  |  |
| （５）情報セキュリティに対する取組み（情報セキュリティポリシなど）の状況。 | □個人情報等を始めとし、機密情報などを保護する姿勢はあるか。□ホームページに情報セキュリティポリシー（方針）を掲載しているか。 |  |  |
| （６）個人情報等に関する安全管理の仕組みの状況。 | 以下参照のこと。 |  |  |

（６）個人情報等に関する安全管理の仕組みの状況について、以下を実施します。

□ プライバシーマークを取得している。

□ ISO27001（ISMS）を取得している。

□上記を取得していない場合は、以下のチェックリストを実施すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価する内容 | 必須 | 評価 |
| 個人情報保護体制の整備状況 | □（特定）個人情報保護管理者が任命されている。□（特定）個人情報保護監査責任者が任命されている。□（特定）個人情報保護担当者が任命されている。 |  |  |
| 個人情報保護規定類の整備と運用状況 | □（特定）個人情報保護規定類が整備されている。□規定類に従った運用が実施され、その記録がとられている。 |  |  |
| 個人情報管理台帳の整備と運用状況 | □個人情報等管理台帳を作成している。□適宜、個人情報管理台帳等の更新（追加・削除）を行っている。 |  |  |
| 事故対応の状況 | □事故対応規定・マニュアルが策定されている。□事故報告書の書式が定められ、記録がとられている。□事故発生時の連絡体制が整備されている。□事故の再発防止へつなげる取組みが行われている。 |  |  |
| 再委託先に対する管理状況 | □業務再委託を行って（予定して）いる。 □有 □無※有の場合、下記の状況をチェックする。□委託先選定基準が整備されている。□委託先管理規定が整備されている。□特定個人情報に関する再委託を行う場合には、事前に当社へ再委託の許可を申し出るルールとなっているか？またそのルールを再委託先・再々委託先などへ連鎖的に指導徹底し、定期的な現地調査を行っているか。□再委託先の選定・管理がルールに従って実施され、記録が残されている。□再委託先との機密保持契約の締結がルール化されている。 |  |  |
| 内部監査の実施状況 | □内部監査を定期的に実施している。□内部監査の結果に基づいた改善が行われている。 |  |  |
| 緊急時対応計画の状況 | □緊急連絡網が整備されている。□緊急時対応計画が策定されている。□緊急時対応計画に従った訓練が実施されている。 |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価する内容 | 必須 | 評価 |
| 機密保持に関する誓約書の取得状況 | □すべての従業員（契約社員、パート、アルバイト含む）から誓約書を取得している。□誓約書の表現が、退職・契約解除後も誓約内容が有効になっている。 |  |  |
| 派遣社員を使用している場合の対応状況 | □派遣会社との間で機密保持契約を結んでいる。□派遣社員に対し、自社の個人情報等の仕組み・手順を説明し理解を得ている。 |  |  |
| 教育の実施状況 | □すべての従業員（契約社員、パート、アルバイトを含む）に対する（特定）個人情報保護教育が計画され、実施されている。□教育実施記録、教育受講記録をとり、適切なフォローを行っている。 |  |  |
| 入退管理の状況 | □来訪者の入退記録をとっている。□来訪者には従業員が必ず同行している。□従業員は必ず身分証明書を携行している。□セキュリティの高い部屋への入退を、入退管理システム（磁気カード、生体認証等）で記録している。□個人番号関連教務を行うスペースを「取扱区域」としてパーテーションで区切り、一般従業員の入室を制限しているか。 |  |  |
| 個人情報等の保管の状況 | □管理者を定めている。□施錠できる場所に保管している。□保管記録をとっている。 |  |  |
| 個人情報等の持出し管理の状況 | □個人情報等の持出しを行っている。 □有 □無※有の場合、以下の状況をチェックする。□持ち出す場合のルールが定められている。□持出しの記録がとられている。 |  |  |
| 個人情報等の授受の状況 | □安全性の高い方法で授受を行っている。□授受の記録がとられている。 |  |  |
| 個人情報等の廃棄の状況 | □情報の種類ごとに、廃棄基準、廃棄方法が定められている。□安全かつ確実な方法で廃棄を行っている。□廃棄の記録がとられている |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価する内容 | 必須 | 評価 |
| 情報機器の安全管理の状況 | □個人情報等を管理しているサーバ等は安全性の高い場所に設置されている。□特定個人情報を保管するサーバや特定個人情報が記載された書類を保管するキャビネットがある場合には、「管理区域」としてパーテーションでエリアを区切り、履歴の取れる入退室管理システムを導入している。□ユーザはクリアスクリーン、クリアデスクを適切に行っている。□重要なデータのバックアップを取得している。 |  |  |
| アクセス管理の状況 | □アクセス管理規定が策定されている。□従業員の職位・職務内容に応じたアクセス権限の設定が行われている。□アクセス権限の設定状況が維持管理されている。 |  |  |
| パスワード管理の状況 | □パスワード設定・管理ルールが定められている。□ユーザはルールに従って、自分のパスワードの管理を行っている。 |  |  |
| アクセスログの状況 | □個人情報の入ったデータベースへのアクセスログを取得している。□アクセスログの分析を行っている。 |  |  |
| コンピュータウイルス対策の状況 | □すべてのサーバ、クライアント PC にウイルス対策ソフトが導入されている。□パターンファイルの更新、ウイルススキャンが自動的に行われる仕組みになっている。 |  |  |
| 個人情報等の送信管理の状況 | □個人情報等をネットワークを介して送信する場合、暗号化やパスワード設定などの対策を行っている。□送信の記録をとっている。 |  |  |
| リモートアクセスの状況 | □リモートアクセスを行っている。 □有 □無※有の場合、下記の状況をチェックする。□許可を受けた者だけが行えるルールになっている。□リモートアクセスの手順が定められている。□リモートアクセスのログがとられている。 |  |  |
| 評価結果 | 承認日・印 | 評価者印 |
|  |  |
| コメント |